

「清流の国ぎふ森林・環境税」に関する県政モニターアンケート結果

調査対象：県政モニター 926名

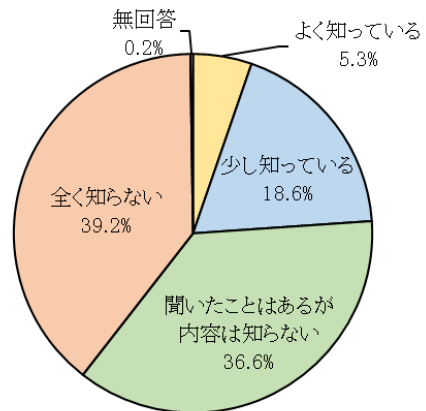
調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和7年6月20日～7月14日

回収結果：849名（回収率91.7%）

■設問1 「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度

選択肢	人数	割合
よく知っている	45	5.3%
少し知っている	158	18.6%
聞いたことはあるが内容は知らない	311	36.6%
全く知らない	333	39.2%
無回答	2	0.2%



■設問2 「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して、取り組んでほしい取り組み

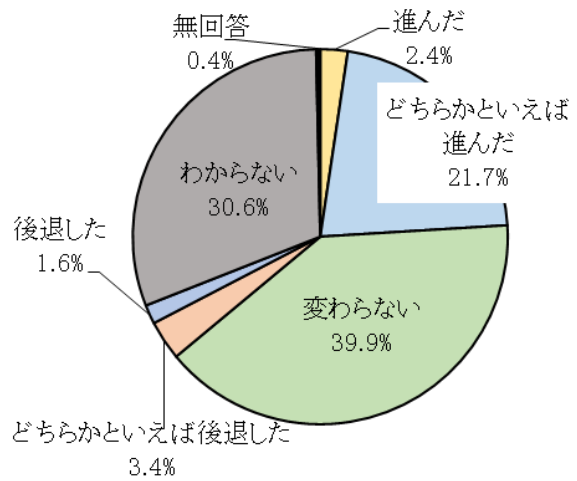
選択肢	回答数	割合
森林の水源かん養機能や土砂災害の防止などの機能を維持・増進するため、水源林や里山林などの間伐を進める	464	54.8%
自然生態系を保全・再生するため、河川清掃や用排水路の整備を進める	388	45.8%
地球温暖化防止に資する二酸化炭素の吸収源としての森林を増やすため、植林を進める	364	43.0%
子どもたちへの木育の推進や学校の内装木質化などを進める	295	34.8%
野生鳥獣による農林業や生活環境、生態系等への被害を軽減するため、鳥獣害対策を進める	289	34.1%
森林を観光や散策、森林浴を通じて健康増進を図る場等として活用する取り組みを進める	276	32.6%
木質バイオマス発電や小水力発電などの環境にやさしいエネルギーの導入を進める	251	29.6%
地域の住民が主体的に行う環境保全活動を促進する	126	14.9%
特にない(わからない)	41	4.8%
その他	10	1.2%

【その他】

- ・水源林の公有林化
- ・針葉樹を伐採して広葉樹を植林する活動

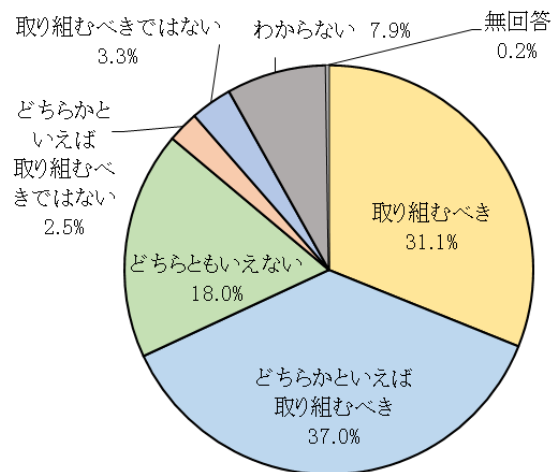
■設問3 近年、森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に関する県の施策は進んだと感じるか。

選択肢	人数	割合
進んだ	20	2.4%
どちらかといえば進んだ	184	21.7%
変わらない	339	39.9%
どちらかといえば後退した	29	3.4%
後退した	14	1.6%
わからない	260	30.6%
無回答	3	0.4%



■設問4 令和9年度以降も、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して、森林や自然環境に関する施策に取り組むべきか。

選択肢	人数	割合
取り組むべき	264	31.1%
どちらかといえば取り組むべき	314	37.0%
どちらともいえない	153	18.0%
どちらかといえば取り組むべきではない	21	2.5%
取り組むべきではない	28	3.3%
わからない	67	7.9%
無回答	2	0.2%



【主な意見(自由記述)】

広報について

- ・これまでの取り組みの結果・効果等を具体的に広報されたい。
- ・森林を守ることは、環境保全や災害防止の観点から非常に重要であり、将来の世代に向けた投資だと考え、その意味で森林環境税として年間 1,000 円を負担すること自体は妥当だと思う。税の使い道が見える形で公表されることは、住民の理解と協力を得るうえで不可欠。単なる数字だけでなく、写真や地図、関係者の声などを交えた分かりやすい情報発信を希望。

問題提起

- ・耕作放棄地の活用方法が太陽光発電となることが多い。農園や特産物を作るなど自然を活かした方法が広く知られば、もっと良い場所、子どもが健やかに安心安全に育つ場所に繋がると思う。
- ・間伐されていない針葉樹林が多くあり、手入れが十分に施されていないように思う。林業従事者の減少や高齢化、国内木材の高価格化を考えると針葉樹林から広葉樹林への転換を進めた方が良いのではないか。
- ・花粉症対策と鳥獣害対策を兼ねて、スギやヒノキ以外の木（ドングリなど動物のエサになるもの）を山に植林してほしい。山を削って太陽光発電パネルの設置は景観を損ねたり、土砂災害の危険等があるので、やめてほしい。

使途について

- ・伊吹山のシカの例にもあるように、土砂崩れ等が怖いので、他の森林等も対策をしてほしい。
- ・木遊館のような木育に力を入れた場所がたくさんあるといい。実際に行ったが、木のおもちゃは独特の温かさがあり、自然由来で安心して遊べる場所もいいと思うので、小さい頃から遊べるようにたくさんあってもいいと思う。
- ・多種多様な補助事業があるが、補助事業を活用できるのはある程度まとまった量の木材を使用する場合に限られることが多いため、活用できる事業者に限られる。特に飛騨地方には、個人や少人数で活動している優れた木工家も多いので、そういった人たちも利用しやすい施策があるといい。

その他

- ・自然豊かな県であり、それを維持管理して安心安全を第一に後世にも大切に残してほしい。そのための税金ならやむを得ない。
- ・森や川など自然豊かな県であることが魅力だと感じている。税金として集め、環境保全活動に生かしていただき、県の魅力を豊かにしてほしい。自然と共存しながら暮らせる県であってほしい。
- ・国の環境税も始まっており、県環境税の森林部門は国の環境税で行えばいいのではないのでしょうか。
- ・一律の課税はおかしい。これ以上税金を増やさないでほしい。生活が苦しい。